

# マニフェスト56%達成

自民市連、前回市議選を検証

川崎

川崎市議選

9日投開票に向け、自民党

川崎市支部連合会は前回掲

げたマニフェストの達成状

況について検証し、全項目

の約56%を達成したと発表

した。同市連がマニフェス

トを検証するのは初めて。

市連は、前回市議選で経

済対策や医療・福祉体制の

拡充、子育て支援など48項

目を掲げ、昨年7月に着手

・中堅議員を中心に検証を

開始。同市に政策の進捗

状況を確認しながら、それ

ぞれ評価した。

「達成」としたのは、小

児医療費助成の対象拡大や

全国都市緑化フェアの誘致

など27項目。複合型災害対

策など途上にある15項目

(約31%)は「実施中」、

教師の指導力向上など目標

に届かなかつた4項目(約

8%)は「未達成」とした。

新型コロナウイルス感染拡

大の影響を受けた東京五輪

・パラリンピックの観光客

誘致など2項目は「方針変

更」または「評価不能」と

した。

党川崎市議団長を務める市連の青木功雄政調会長

は「民間出身の議員が増え、公約を検証するには当然と

いう感覚を持つ議員も多くなった。市民にファイードバ

ックすることは重要」と強

調した。一方、同市議団副

また、市連は新たなマニフェストを作成し、子育て支援拡充や特別市構想の推進など58項目を掲げた。市連のホームページに掲載している。(武藤 龍大)

さらに改善していくとい

う。

会長代理は「前回のマニフェストは当時の背景や状況などが分からず、評価が難しかった。評価に関する客観性の担保も課題」と今後、

さらに改善していくとい